



輝け!美南っ子

～よく学び よく遊び たくましく生きる子～



「美南っ子の宝 見つけ隊」

本校の今年度の重点活動の一つに「探究的な学習活動の推進」があります（令和5年度小諸市立美南ガ丘小学校グランドデザイン；HP 参照）。これは1・2年生で行われている「生活科」、3～6年生で行われている「総合的な学習の時間」を充実させていくというものです。

学級ごとの独自の学習内容で、担任の先生がリードする授業ではなく、子どもたちが主体的に学習を進めていくところがミソです。課題にぶつかった時に、その解決方法を自分たちで考えて、実践してみる。失敗から次はこうしてみようと新たなことにチャレンジする。こうして探究的な学びを深め、これからの複雑化した社会を自分の力で生き抜く力をつけていくことをねらっています。

1年生のあるクラスでは「きゅうしょくはかせになろう」と給食室の調理の様子を見学したり、自分でお味噌汁の具材を考えたりしています。4年生のあるクラスでは、中庭にある「ユリノキ」を「ユリッキー」と名付け、愛着を持って調べていましたが、教室が暗くなるため伐採されることになり、賛成・反対の大討論をしました。6年生のあるクラスでは「ふるさと小諸」をテーマに懐古園を訪ね、そこに关わる人たちの思いに触れ、多くの人に懐古園に行ってほしいと、全校の児童向けにオリジナルのパンフレット作りに取り組んでいます。

その他、各クラスの取り組みを「美南っ子の宝見つけ隊」と名付け、中校舎1階プレイルームに掲示しています。参観日等の折に、ぜひご覧いただきたいと思います。



プレイルーム「美南っ子の宝見つけ隊」

先生たちもチャレンジ

右の写真は、職員会議の一場面ですが、何をしているか分かるでしょうか。実は、毎年全国の小学6年生が一斉に行う「全国学力調査」の今年度の問題を先生方が解いています。

近年の出題傾向は、単に漢字を書く、計算をするといった知識理解だけではなく、「あなただったら、どのように話しますか?」とか、「次の式はどんな理由から立てられていますか?」といった思考力判断力を問うものが多く出されています。高校入試・大学入試も同じ傾向にあるようです。求められる学力が身に付くように学校の授業の仕方も変わってきています。



【2学期学校行事の変更のお知らせ】

11/3(金)に予定していた PTA 人権講演会を 11/11(土)の地域公開参観日(午前)の折に行います。